

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

七日市「長岐邸」一般公開

～地域の歴史文化にふれる～

北秋田市指定有形文化財の七日市「長岐邸」が、5月3日から3日間、「おさるべ元気くらぶ」(長岐直介代表)の主催で一般公開され、市内外から約220人が訪れました。

長岐家当主は、江戸時代初期から七日市村の肝煎りを代々務め、建物は最上層の肝煎り屋敷の住宅形式といわれており、平成元年10月1日に北秋田市有形文化財として指定されました。

格式高い書院座敷では、2月に行われた「葛黒火まつりかまくら」の写真展とDVD上映が行われ、

訪れた人たちは、同くらぶ会員の説明を聞きながら、七日市の歴史文化に理解を深めました。



▲一般公開された「長岐邸」を見学する来場者

子どもは地域の宝もの

～学校支援地域本部事業～

北秋田市では、今年度も地域ぐるみで学校を支える「学校支援地域本部事業」を推進しています。

この事業は、地域の将来を担う子どもたちの育成について、学校だけではなく地域ぐるみで人材を育てる意味から、ふるさと教育やキャリア教育など、多くの市民の方々の知識や経験を生かせる機会を増やし、地域の活性化を目指すものです。

なかでも、多くの市民が支援している「朝の見守り隊」は、児童・生徒の安心と安全を守るスクールガードとして市内各所で行われており、子どもたち

とのふれあいから、毎日元気をもらっているという市民が増えています。



▲元気なあいさつの声が行き交う朝の登校風景

共に歩む学びの輪

～平成27年度高齢者大学開講式～

森吉大学を皮切りに、高鷹大学、合川ことぶき大学、阿仁生き生き大学と、今年度の各地区高齢者大学が開講しました。

このうち、5月12日に森吉公民館で行われた森吉大学(佐藤信子学長)の開講式では、受講生を代表して小林節子さんが、「共に学ぶ仲間たちと楽しみながら活動をしていきたい」と誓いの言葉を述べ、90人の学生が学習活動をスタートさせました。

開講式終了後、第1回講座として柴田信勝さん(元森吉町助役)を講師に迎え、『心のエイジングケ

ア』-特効薬・勉強ドモリングル-』と題した講演が行われ、生涯学習について理解を深めました。



▲学習の決意を新たにした森吉大学開講式

中央公民館短期講座

開講 中央公民館 ☎62・1130

■笑顔の写真講座「北秋田人の風貌」

開催期間 6月5日(土)～8日(金)6回
第2、第4水曜日 午前9時～12時
対象 カメラ、スマートフォンなど
で人物を撮ることに興味のある方
講師 コンドウダイスケ 氏
持ち物 カメラ、デジタルカメラ、
スマートフォン、携帯電話など
費用 プリント代 定員 20人
申込締切 6月17日(水)

図書館からのお知らせ

開 鷹巣図書館 ☎62・3311

今月のおすすめの本を紹介します。

- 鷹巣図書館
- 『鹿の王 上・下』(上橋菜穂子著)
- 森吉図書館
- 『子どものミカタ』(山登敬之著)
- 合川公民館図書室
- 『老いの冒険』(曾野綾子著)
- 阿仁公民館図書室
- 『運営からトラブル解決まで自治会・町内会お役立ちハンドブック』(水津陽子著)

市内を花いっぱい!

花いっぱい運動推進協議会

今年も花と苗の販売を行います。
販売場所 さかえフラワーセンター
種類と価格 マリーゴールド(黄・

オレンジ) 30円/サルビア(赤) 40円/アゲラタム40円

事前申込 6月8日(月)～14日(日)

販売日時 「事前申込みをした方」6月20日(土)、21日(日)の午前5時30分

から午前9時/「申込みをせずに購入する方」6月21日(日)
※苗を入れる箱は各自用意ください

開 阿仁公民館 ☎82・2220

■昭和50年小猿部川洪水を観る

堀部亮一氏(七日市在住)が撮影した40年前の映像を上映します。
日時 6月21日(日) 午前10時
会場 長岐邸(七日市) 入場無料
語り 清水修智氏ほか

阿仁公民館公開講座

開 阿仁公民館 ☎82・2220

■「EM石けん」づくり講座

日時 7月7日(火) 午前10時
場所 阿仁公民館
講師 佐藤正氏 参加費 500円
持ち物 牛乳の空きパック2個、軍手
※定員になり次第締め切ります。

大阿仁小児童クラブ指導員募集!

開 生涯学習係 ☎62・1130

※詳しくはお問い合わせください。

ふるさとの文化財

北秋田市指定記念物(名勝)

○「松栄桜並木」

◇所在地 北秋田市松栄
◇管理者 松栄自治会

国道105号線沿いの大野台松栄地区に至ると、道路の両側7、800mにわたる桜並木(ソメイヨシノ)があります。例年4月末からの開花時期にはすばらしい桜のトンネルとなり、道の両側の花見をするため散策に訪れる人も多く見られます。

以前は、地名のとおりアカマツの並木でしたが、太平洋戦争中に飛行機の燃料用として「松根油」を得るためすべて伐採されました。戦後、昭和26年、地区の青年会員が中心となり、県外から桜の幼木を購入し植樹したのが始まりといわれています。



▲松栄桜並木

87

自治会では、春先3月に枝木の剪定や施肥を行うなど桜の維持に努めてきましたが、植樹から60年が過ぎ、周辺環境の変化も桜の生育に影響を及ぼし、老木化が進んでいる現状です。近年では鳥の食害により開花に影響も見られます。市教育委員会でも樹木医に数回診断を依頼し、保護・管理に配慮してきましたが、樹勢の衰えにより車や人の通行に支障が想定される枯れ枝・老木については、枝切りや伐採をする予定です。



▲老木化が進む桜の樹木

- ▽平成8年2月29日北秋田市指定記念物(名勝)
- ▽資料/「秋田の桜」(無明舎)、「秋田の名勝・天然記念物」(秋田県教育委員会)「合川町の三十年」(合川町)
- ▽協力者/自治会、聞き取り
- ▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二